



2023年/11月号 No.408

発行 東神戸医療互助組合

日本国憲法第25条 (生存権、国の社会的使命)

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

神戸市東灘区住吉本町2丁目19-3 TEL(078)851-9381 FAX(078)821-7270 Email info@kobegojo.sakura.ne.jp URL www.k-kyowakai.or.jp



互助組合への 秋の組織強化月間 (10月1日~11月30日)

加入・出資金にご協力下さい

(目標: 425件)

(目標: 5000万円)



9月16日(土)に兵庫県学校厚生会館で2023年度秋の組織強化月間スタートダッシュ集会が開催されました。会では始めに三木康洋専務理事より、今月間のスローガン、

月間の目標と重点課題について報告があり、「70周年の秋の組織強化月間を一粒となって成功させましよう!!」との行動提起が行われました。



神戸健康共和会の藤末衛理事長からは、これまでの民医連の歴史を交え「神戸健康共和会は医療生協ではない法人として、『平和・世直し・健康づくり』を基に神戸健康共和会は東神戸医療互助組合と共に、地域に出ていき、班会を組織し、今日まで粘り強く取り組んでまい

(2面に続く)

インフルエンザ 予防接種 スタート

10月2日(月)から東神戸病院や各診療所でインフルエンザの予防接種が始まっています。互助組合員が一般料金5,000円(税込)で受けた場合には、互助組合から2,000円を補助します。つまり実質3,000円!同居のご家族の方にも適用されますので、詳しくは病院・診療所にお問い合わせください。

今号の 主な記事

- 組織強化月間スタートダッシュ集会...2 薬局で〜す...3 兵庫県へ申し入れ...4 支部だより...5 クイズまちがいは7つ...6 11月の行事・班会等一覧...7 健康まつりのご案内...8

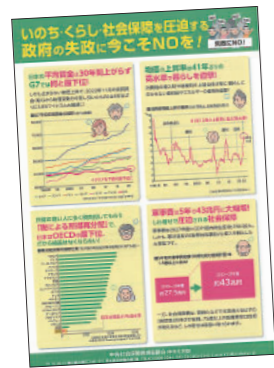
Health Festival 2023 poster with event details, map, and photos.

健康保険証なくさないで!!

署名にご協力を



ひとつは「現行の健康保険証を残すこと」を求める署名です。マイナンバーカードの誤登録や情報漏洩で不安が高まる中、マイナンバーカードへの一本化をやめさせ、健康



本紙『健康ニュース』が手配りで届いている地域では、下のよう署名と返信用封筒が折り込みされています。

「じゃあ健康保険証でいいじゃない!」との声が挙がり、健康保険証を残すための運動・意味を知ることができる学習会となりました。

保険証を残しましょう。ぜひ、あなたの思いを署名に託し、届けてください!



もっと気軽に薬局へGO!

東神戸薬局 石黒 友季子



通院が大変になってきた、薬が余ってしまい整理がつかない、などお困りのことはありませんか? 薬局では訪問によるお薬のお届けと共に服薬の手助けを行っています。医師の指示に基づき、介護保険等を利用して実施しており、担当医師やケアマネージャーへ訪問の情報をお伝えします。困った時はいつでもご相談下さい。

東神戸薬局・ひかり店では健康フェアとして、9月に「耳の聞こえ相談会」を開催しました。耳が聞こえ難くなったらどうする? や、補聴器の仕

組みなどのお話がありました。無料補聴器体験もあり大盛況でした。

地域の班会や医療懇談会では、「漢方薬」「サプリメント」「認知症」「睡眠」「うんち」などのお話をさせて頂いています。もっとメニューも増やしていきますのでリクエストお待ちしております。

健康相談や健康食品の販売など、今後も様々なサービスをご提供する予定です。処方箋無しでもぜひ気軽に薬局にお立ち寄りください。

今だから知りたい トラブル続きのマイナカードの仕組み

社保平和委員会

組合員さんより要望の多かった「マイナンバーの学習会」を10月4日(水)に開催しました。

講師に保険医協会の平田雄大さんを招き、当日は18人の参加がありました。平田さんにはマイナンバーカードのトラブルや国の思惑、医療機

関の反対の声など分かりやすく講演いただきました。参加者からの質問にも丁寧に回答いただき、早くも第2

回をしてほしいと要望がありました。また、平田さんより資格証明書は健康保険証とできることは変わらないことを紹介したと、参加者から



「じゃあ健康保険証でいいじゃない!」との声が挙がり、健康保険証を残すための運動・意味を知ることができる学習会となりました。

(一面からの続き)

た。共に、組織強化月間を成功させよう」との激励の挨拶がありました。

地域に寄りそう 活動と取組み

今年度のスタートダッシュ集会では指定報告が3題ありました。

地域が待っていた 盆踊り大会



東神戸病院の山本智文事務長より、8月5日(土)に2018年以来5年ぶりに盆踊り大会が雨の神公園で開催されたことについて、開催に至るまでの葛藤や案内を行う範囲の検討、開催当日の大勢の参加者や祭りの様子について報告いただきました。

担い手発掘と 地域訪問



ほくら支部の羽瀧茂治さんより、2021年から始まったほくら支部・ほくら支部の分割と分割後の格差をなくすための議論について、また各支部の担い手発掘のための手段として、健康ニュース配達時に会って対話することを大事にしているとの報告をいただきました。

地域の要求と 新加入



フロア発言では芦屋支部の渡部明さん、兵庫支部の朝田恵子さん、うほら支部の三木美恵子さん、北支部の村上泰道さんより「支部で取り組んでいる活動」「月間中に行う予定の企画」について発言い

広がる活動と 地域の輪



灘東支部の秋本廣子さんより、新しく麻雀サークルを立ち上げるにあたり、サークルの世話人探しや、地域に住み麻雀をやりたいと要望を持っている方々を、互助組合加入につなげた働きかけについて報告いただきました。



参加者からは「強化月間頑張ります!」支部活動報告を聞いて、元気がでた!「色々な行事から組織拡大につながる報告が多い!」各支部の感想が寄せられ、10、11月の組織強化月間本番を元気に望むことができる集会となりました。



皆さんは補聴器をお持ちですか? 欲しいけど何十万円もすると聞くと手が出ない方も多しと耳にします! 欧州各国では難聴者の補聴器保有率が40~50%台に上るのに対し、日本では15%に留まっているそうです! 地方自治体の独自助成制度は広がりをみせています! 兵庫県で補助制度を作ったほしいと運動が実り、2022年度、時限制度でしたが2万円の補助が実現しました! この兵庫の運動が全国地方自治体に広がっています! しかし今、国の制度が必要だとの声が高まっています! 難聴が認知症の危険因子との指摘もあり、関連の研究が進められています! 補聴器は健康寿命を延ばし、医療費抑制にもなりますよ! 聞こえにくいを我慢せず、人とのつながりが楽しめるようになりますね! 70年の歴史を刻んでいる互助組合は、安心して住み続けられるまちづくりを目指しています! その手助けにもなるのではないのでしょうか。

(H・H)



コロナ対策継続求め 兵庫県へ 申し入れ



神戸健康共和国は9月1日、兵庫県に対し、10月以降もコロナ対策を縮小・廃止せず、継続することを求め、要望書を手渡し、申し入れを行いました。前田竜成専務理事、長岡利恵子看護部長、仁田勝大兵庫民医連事務局長、

コロナはまだ 収束していない

冒頭、5月以降、東神戸病院の発熱外来件数は増加し続けていること、継続して入院を受け入れてきたことなどを

申し入れた要望

- 新型コロナウイルス治療薬の公費適用、患者負担の軽減措置の継続
- 9月末までとされているコロナ入院受け入れ病院への補償の継続
- 高齢者施設等の職員への定期的な抗原検査の継続
- 品薄医薬品の早期改善

「必要な方の入院を保障するため、10月以降もコロナ病床への支援が必要」「窓口負担が重くなれば、受診できない人が増える」「定期的検査は感染拡大防止に必要」「咳止めなどの品薄解消を」などと訴えました。県担当職員は「国の方針をふまえて考える」としながら、国が対策を縮小すれば県独自で支援を継続することは難しいと表明。国は、コロナが高止まりしているにも関わらず、10月から対策・支援を縮小や終了しました。必要な方が医療にながれるよう、様々な関係団体と協力しながら、国・県へ継続的に要請していきます。

説明し、要望しました。



楽しく笑顔で 班会参加!

ほくら支部 竹末白代子

深江南の班会は毎月第3木曜日に深江南地域福祉センターにて午後2時～3時まで行っています。

前半は脳トレ、主に間違い探し等を行います。答えに悩むと担当の事務局・道上さん



(以下先生) は内心勝ったと嬉しそうな顔をされます。いやいや負けてはならないと私達も頑張ります。その合間をぬって健康チェック(体重測定など)をします。

後半は私の苦手なチューブ体操です。手足にチューブを巻いて屈伸運動「20回しましよ」と先生。しんどくなってきたころ、誰かが「あと何回?」と尋ねます。「あと10回でも無理なら止めて良いですよ」と優しい先生の声。「いや頑張ります」とギョップはしません。この駆け引きが何度も続き、とても楽しく皆さん笑顔で毎回参加しています。

ごつごつ近所の方も気軽に乗り越して下さい。お待ちしております。

サロンすずらん喫茶 で9条マジック!!

北支部 松浦 勝

7月のサロンすずらん喫茶で、神戸奇術の会会員で互助組合ほくら支部の井上正弘さんの9条マジックをしていただき参加者は大喜びでした。



井上さんは、プロはだしのテクニックとトークで参加者を魅了。マジックのおもしろさ、楽しさを存分に披露して下さいました。そうした中で平和と憲法9条を守る大切さを説かれたのは流石でした。

井上さんは、30数年來のチエロ奏者。ご家族そろっての音楽一家で、厳しい証券闘争をたたかい抜かれたことを知らされて驚きを隠せませんでした。

10月24日に4年ぶりの北支部バスツアーで天橋立、伊根の舟屋丹後の旅を予定しています。参加者40数人はすでに決まり、出発日が待ち遠しい方もおられるよう。楽しみに胸が高鳴ります…。

東神戸病院 自動音声応答システム導入のお知らせ

平素は東神戸病院をご利用いただき誠にありがとうございます。

令和5年10月16日(月)9時より、代表電話(078-841-5731)へのご連絡の初期対応を自動音声案内へと変更いたしました。患者様や当院へお問い合わせくださる方々への円滑な対応とサービス品質の向上を目的としておりますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、自動応答の時間は、平日9時～16時30分、土曜9時～13時です。

その他の時間はこれまで通りオペレーターに直接つながります。

お問い合わせ内容	プッシュ番号
診察・検査等の予約に関するお問い合わせ	『1』
健康診断などに関するお問い合わせ	『2』
地域連携相談室へのお問い合わせ	『3』
その他①～③に該当しない場合、急患	『0』
もう一度ガイダンスを聞きたい場合	『4』

地域での認知症予防と 支えあいの活動の一步へ!!

保健委員会 藤原 美音



増え続ける認知症の介護や支援を正しく出来る人は少ないです。保健委員会では、2回にわたって認知症サポーター養成講座(8月19日)と実践講座(10月1日)を開催しました。家族や自分が心配だ

という人もいて両講座とも40人近い参加がありました。養成講座では認知症の定義をキャラバンメイトの須川雄司講師の講義で学びました。実践講座では認知症予防ネット神戸の伊藤美講師が接し方など具体的な事例を挙げて説明してくれました。グループワークでは各自が悩みなど出し合い時間が足りないうらかったです。認知症は脳の病気であることを理解しました。本人はたえず不安を持っているため、接し方は常にやさしく。簡単なようで家族にとっては最も難しい課題です。やはり第三者の助けが必要です。それには地域の協力体制の充実とサポーター役がひとりでも多く育つことが必須です。

「いつでも元気」を読もう!!

・薬等、多彩な記事と美しい写真を満載し、気軽に読め、生活に役立つ情報誌です。全国の紹介もされており、私たちの活動にも役立ち、参考になると思います。

「いつでも元気」は1部380円。

お申し込みは、東神戸医療互助組合事務局(☎078-851-9381)、または各支部担当者へお問い合わせください。



全日本民主医療機関連合会が発行する月刊誌「いつでも元気」は、あなたと民医連をつなぐ月刊誌として1991年より発行しています。名前のとおり、健康づくりを中心に体力づくり・脳トレ・食事

